

連結決算の概要

平成 21 年度中間期の三井住友フィナンシャルグループ連結決算の概要は以下のとおりとなりました。

I 業績

平成21年度中間連結決算は、連結子会社293社(国内168社・海外125社)、持分法適用会社80社(国内45社・海外35社)を対象としています。

平成21年度中間連結決算につきましては、厳しい経営環境ではありましたが、三井住友銀行における金利動向を的確に捉えた国債等債券損益の計上等により、連結粗利益はほぼ前年同期並みの水準を確保し、1兆660億円となりました。この連結粗利益に、

営業経費、不良債権処理額、株式等損益、持分法による投資損益を加減した経常利益は、三井住友銀行において、政府の景気対策効果や取引先の状況に応じたきめ細かな対応に取り組んできた成果、海外マーケットの状況改善等により、不良債権処理額が減少したことを主因として、前年同期比312億円増益の2,222億円となりました。またこれに、特別損益及び法人税等の税金を加減した中間純利益は、同402億円増益の1,235億円となりました。

◆連結子会社・持分法適用会社数

(単位:社)

	平成20年度中間期末	平成 21 年度中間期末	平成20年度末
連結子会社数	282	293	288
持分法適用会社数	76	80	79

◆損益の状況(単位:百万円)

	平成20年度中間期	平成 21 年度中間期	平成20年度
連結粗利益	1,068,130	1,066,026	2,165,880
資金利益 信託報酬 役務取引等利益	678,514 1,268 283,999	683,164 540 259,528	1,338,453 2,122 557,178
特定取引利益 その他業務利益	△ 342 104,690	140,586 △ 17,794	211,738 56,386
営業経費	△ 538,960	△ 533,021	△ 1,063,419
不良債権処理額	△ 303,048	△ 268,985	△ 769,484
貸出金償却 個別貸倒引当金繰入額 一般貸倒引当金繰入額 その他	\triangle 153,570 \triangle 109,697 \triangle 24,232 \triangle 15,546	△ 118,308 △ 142,974 30,253 △ 37,955	$igtriangledown 302,353 \ igtriangledown 297,400 \ igtriangledown 104,145 \ igtriangledown 65,585$
株式等損益	△ 19,777	△ 8,928	△ 183,677
持分法による投資損益	△ 6,138	△ 20,042	△ 94,876
その他	△ 9,243	△ 12,822	△ 9,111
経常利益	190,962	222,225	45,311
特別損益	△ 407	7,851	△ 15,815
^{うち} 減損損失 ^{うち} 償却債権取立益 ②	△ 1,331 924	△ 1,763 526	△ 7,363 1,708
税金等調整前中間(当期)純利益	190,555	230,076	29,495
法人税、住民税及び事業税	△ 46,433	△ 64,943	△ 72,238
法人税等調整額	△ 15,790	14,720	△ 262,405
少数株主利益	△ 45,051	△ 56,313	△ 68,308
中間純利益 (△は当期純損失)	83,281	123,540	△ 373,456
与信関係費用 ①+②	△ 302,124	△ 268,458	△ 767,775
<参考>連結業務純益 (単位:億円)	4,100	4,004	7,287

⁽注) 1. 連結組利益=(資金運用収益-資金調達費用)+信託報酬+(役務取引等収益-役務取引等費用)+(特定取引収益-特定取引費用)+(その他業務収益-その他業務費用)

^{2.} 連結業務純益=三井住友銀行業務純益(一般貸倒引当金繰入前)+他の連結会社の経常利益(臨時要因調整後)+持分法適用会社経常利益×持分割合-内部取引(配当等)

また、預金残高は、平成20年度末比3.984億円増加して75兆 9,679 億円、譲渡性預金残高は、同8,688 億円増加して8兆3,301 億円となりました。

一方、貸出金残高は、同 5.791 億円減少して 64 兆 5.561 億円、

有価証券残高は、同 3.427 億円減少して 28 兆 3.554 億円となりま した。

純資産は、普通株式の発行や中間純利益の計上等により、同1 ※ 4.912 億円増加して 6 ※ 1.029 億円となりました。

◆資産・負債・純資産

(単位:百万円)

	平成20年度中間期末	平成 21 年度中間期末	平成 20 年度末
資産 111,033,760		117,531,379	119,637,224
^{うち} 有価証券 ^{うち} 貸出金	21,795,888 63,477,758	28,355,428 64,556,160	28,698,164 65,135,319
負債	105,776,012	111,428,411	115,025,460
^{うち} 預金 ^{うち} 譲渡性預金	73,583,098 3,254,678	75,967,958 8,330,122	75,569,497 7,461,284
純資産	5,257,748	6,102,967	4,611,764

II 有価証券の評価損益

平成 21 年度中間期末の有価証券の評価損益は、平成 20 年度 末比 6,661 億円増加して 6,594 億円の評価益となりました。この うち、純資産直入の対象となる「その他有価証券(含むその他の

金銭の信託)」の評価損益は、株式相場の上昇を要因に、株式の 評価損益が増加したこと等により、同 6,378 億円増加して 6,044 億円の評価益となりました。

◆有価証券の評価損益

(単位:百万円)

	平成 21 年度中間期末			平成20年度末			
	評価損益			I	評価損益		I
		平成 20 年度 末比	評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	55,028	28,287	55,215	△ 186	26,741	28,155	△ 1,414
その他有価証券	604,611	637,787	794,962	△ 190,350	△ 33,176	356,834	△ 390,011
株式	527,824	520,762	648,399	△ 120,575	7,062	287,380	△ 280,317
債券	63,294	66,120	64,052	△ 758	△ 2,826	21,534	△ 24,360
その他	13,493	50,905	82,510	△ 69,017	△ 37,412	47,920	△ 85,332
その他の金銭の信託	△ 172	90	16	△ 188	△ 262	_	△ 262
合計	659,468	666,165	850,194	△ 190,726	△ 6,697	384,990	△ 391,688
株式	527,824	520,762	648,399	△ 120,575	7,062	287,380	△ 280,317
債券	118,474	94,055	119,259	△ 785	24,419	49,690	△ 25,270
その他	13,169	51,349	82,535	△ 69,366	△ 38,180	47,920	△ 86,100

- (注) 1. 「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金並びに「買入金銭債権」中の貸付債権信託受益権等も含めております。
 - 2. 評価損益は、株式 (外国株式を含む) については主に (中間) 連結決算日前 1 カ月の平均時価に、それ以外は (中間) 連結決算日の時価に基づいており ます。
 - 3. 「その他有価証券」及び「その他の金銭の信託」については、時価評価しておりますので、評価損益は貸借対照表価額と取得原価(又は償却原価)との差 額を計上しております。
 - 4. 「その他有価証券」として保有する変動利付国債については、「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第25号)を踏まえ、合理 的に算定された価額をもって貸借対照表価額としております。

III 連結自己資本比率

平成 21 年度中間期末の連結自己資本比率 (第一基準) は、普 通株式の発行や中間純利益の計上等により自己資本額が増加した こと等により、13.13%となりました。

連結自己資本比率の分子となる自己資本額は、7兆2,814億円 となりました。また、分母となるリスク・アセット等は、55兆 4,232 億円となりました。

◆連結自己資本比率 (第一基準) の状況

(単位:百万円)

	平成20年度中間期末	平成 21 年度中間期末	平成 20 年度末
Tier 1 (基本的項目)	4,491,317	5,295,152	4,335,085
Tier 2 (補完的項目) (自己資本への算入額)	2,746,760	2,765,486	2,420,968
控除項目	△ 730,976	△ 779,160	△ 708,241
自己資本額	6,507,101	7,281,479	6,047,812
リスク・アセット等	63,432,507	55,423,266	52,726,507
連結自己資本比率	10.25%	13.13%	11.47%
Tier 1 比率	7.08%	9.55%	8.22%

IV 繰延税金資産

繰延税金資産は、その他有価証券の評価益が増加した影響等に より、繰延税金負債と相殺後の純額で、平成20年度末比1,583 億円減少して 6,719 億円となりました。

繰延税金資産の計上は、財務の健全性の確保の観点から前期に 引き続き保守的に行っております。

◆繰延税金資産の状況

(単位:百万円)

	平成20年度中間期末	平成 21 年度中間期末	平成 20 年度末
繰延税金資産純額	1,003,197	671,977	830,370
繰延税金資産純額/Tier 1 比率	22.3%	12.7%	19.2%